

ご挨拶



理事 中村玄正

磐梯山を背にし、紺碧の水面を有する猪苗代湖は磐梯・朝日国立公園の一角を担い、四季を織り成す多様な秀景は世界に誇りうるもので、福島県民の「ふるさと、ふくしま」を思い起こさせる「母なる湖（マザーレイク）」であります。また、県民に物心ともに多くの恵みをもたらしてきました。

猪苗代湖は環境省から平成14年から17年の4年間水質日本一の評価を受けてきました。しかし、平成5年頃からのpH値の上昇とともにCODの上昇

が見られてきています。特に、平成18年以降は環境基準のうちの大腸菌群数が基準値を超過することが多くなり、水質汚濁が徐々に顕在化してきております。

福島県では、pH上昇の状況を「異常状態」としてとらえ、平成14年に「猪苗代湖・裏磐梯湖沼群水質保全条例」を制定し、水質保全施策に取り組んできましたが、相手が日本有数の大きな自然湖沼であり、水質の改善にはなかなか実効を奏していません。

猪苗代湖等の水質保全のためには、「民」・「学」・「産」・「官」が一体となって、水質汚濁の問題点を解明しつつ、具体的解決策の多面的実践が必要です。

このため、私たちは多くの県民や行政、事業者と協力して猪苗代湖の水質日本一復活を目指して、猪苗代湖をめぐる幅広い実践活動を主体とする本県民会議を設立することとしました。

この活動は、多くの方々のご協力によって成り立つものであり、各方面の皆様方のご理解とご協力、ご参加をお願いするものであります。

1 会の趣旨

本会は、猪苗代湖の水質を改善して日本一の座に取り戻すことについて、様々な団体と協力しながら、広く県民等に呼びかけ、県民運動として取り組みます。



また、猪苗代湖に関する歴史や文化、自然環境等の様々な知見を「猪苗代湖学」としてまとめることにより、猪苗代湖の魅力を広く発信し、その価値の認識を広めます。

さらには、青少年の対する学習活動の支援や地域資源としての猪苗代湖の利活用を検討するなどします。

これらのことを通じて、猪苗代湖の価値を広く世界に発信します。

Part 1

水質改善県民活動

猪苗代湖の水質悪化の原因となっている植物などに吸着した有機物の回収等を、様々な団体と協力して、多くの県民の参加により行い、水質改善を図ります。

Part 2

水質研究活動

猪苗代湖の水質を含めた諸課題に関して、様々な視点から研究して、その解決を図ります。

Part 3

広報啓発活動

猪苗代湖の関する学習会の開催や青少年の環境保全活動を支援するなどして、会としての取り組みの理解を広める、世界に向けて猪苗代湖の価値を発信します。

2

活動内容

会は、NPO法人として、猪苗代湖に関する活動する様々な団体・機関と協力・連携しながら、このような活動を行います。

Part 4

「猪苗代湖学」活動

猪苗代湖の歴史・文化等をまとめ、猪苗代湖の価値を再確認します。

Part 5

地域資源活用活動

猪苗代湖の産物や景観などの魅力の適正な活用を研究し、地域資源としての利用を図ります。



輝く猪苗代湖をつくる県民会議

「母なる湖」猪苗代湖を守る



特定非営利活動法人  
輝く猪苗代湖をつくる県民会議

理事長 中村 玄正  
TEL090-3127-7585

〈事務局〉

〒963-8006 福島県郡山市赤木町4-5 長谷川 方  
TEL090-1499-0727  
FAX024-934-7011  
mail : cdh93100@par.odn.ne.jp

3 会員等の募集

- ①正 会 員 会の目的に賛同して入会する個人。(年会費 三千円)
- ②賛 助 会 員 会の事業を賛助するために入会する個人・団体  
(賛助会費 一口 五千円)
- ③サポーター 会の活動に参加・協力する個人・団体

団体の皆様には、特に会の健全な運営のために協力をお願いいたします。

会員・賛助会員・サポーター  
申込書

私は、会員・賛助会員・サポーターとして申し込みます。(いずれかに○)

氏 名・団体名	
連絡担当者 (団体の場合)	
住 所	
電 話	FAX
(   )	(   )
メール・アドレス	
賛助金	
口 (   )   円)	

※いただいた情報は、輝く猪苗代湖をつくる県民会議の運営のみに使用します。



平成28年度 猪苗代湖 漂着水草回収活動

10月1日(土)～11月6日(日)



11月5日(土)天神浜 作業前の集合写真(参加者の一部の方々)

NPO法人輝く猪苗代湖をつくる県民会議



10月22(土)天神浜 作業前の漂着水草の堆積状況



10月22日(土)天神浜 回収作業の様子 たちまちコンテナは満杯



10月16(日)松橋浜 作業後の湖岸の状況 堆積状況  
こんなに綺麗になるが、翌週には大量堆積する。

# 猪苗代湖県民 会議に5万円

## 日本損害代理業協

日本損害保険代理業協会は二十二日、NPO法人輝く猪苗代湖をつくる県民会議に五万円を寄付した。

協会は会費の一部を「グリーン基金」として積み立て、自然保護活動に実績のある団体を支援している。平成二十八年度は県民会議

を含む全国の二十四団体を対象に選定した。

贈呈式は郡山市の県環境検査センターで行



中村理事長(左)に目録を手渡す星会長(右)。中央は長沢副理事長

われた。県損害保険代理業協会の星一郎会長が県民会議の中村玄正理事長に目録を手渡した。協会の古谷野進介専務理事、酒井達也常務理事・CSR委員長、鈴木恭子理事兼郡山支部長、県民会議の長沢金一副理事長が同席した。

県民会議は漂着水草の回収などを通じて猪苗代湖の水質改善に取り組んでいる。